

令和4年度 第4回定例記者会見（説明内容）

【市議会定例会日程】〔資料1ページ〕

3月議会定例会は、2月20日（月）午後1時に招集します。
会期は、2月20日から3月17日までの26日間の予定です。

【定例会提案議案】〔資料2～4ページ〕

定例会に提出する案件は、令和5年度当初予算案件が12件、補正予算案件が5件、条例案件が14件、指定管理者指定案件が2件、契約案件が2件、市道案件が1件、人事案件が2件、諮問案件が1件の計39件であります。

報告案件として、専決処分の報告が2件であります。

【令和5年度当初予算（案）の概要】

現在、香取市を取り巻く状況は、人口減少、少子高齢化の進行など、引き続き、抜本的な対策が必要なほか、新型コロナウイルス感染症等の影響により、地域経済情勢をはじめ、個人所得や企業業績において、依然として復調の兆しが見えず、厳しい状況にあると認識しております。

このため、令和5年度当初予算の編成に当たっては、現下の厳しい財政見通しを踏まえ、行政の継続性と、持続可能な行財政運営を基本とし、歳出全般にわたり、様々な見直しを図りつつ、鋭意、経常経費の縮減と歳入の着実な確保に取り組んだところであります。

また、必要な事業の継続を前提とし、住民福祉の向上等に留意しつつ、「第2次香取市総合計画 後期基本計画」の策定経過を踏まえ、特に、推進体制の整備、事業目的や方針及び個別計画の確立に重きを置き、優先度に応じた財源の配分に努めたところであります。

〔資料5ページ〕

令和5年度一般会計予算の総額は、350億4,000万円で、前年度に比べ、2億1,000万円、0.6%の減となっています。これは、防災行政無線更新事業や水道施設統廃合事業などの市民生活の安心・安全に係る事業費が大きく増加したものの、佐原駅周辺地区活性化拠点整備事業等が完了したなど、規模の大きい当該事業予算の減による要因からであります。

特別会計7会計の合計額は、195億210万円で、前年度に比べ1億3,200万円、0.7%の増となっています。

公営企業会計4会計の収益的支出及び資本的支出の合計額は、93億8,097万8千円で、水道事業の影響により、前年度に比べ13億5,012万1千円、16.8%の増となっています。

全会計の総額は、639億2,307万8千円で、前年度に比べ12億7,212万1千円、2.0%の

増となっています。

〔資料 6 ページ〕

(2) 当初予算規模の推移について、一般会計が前年度より減少、特別会計等の計は、増加との状況です。厳しい経済情勢をふまえ、当該予算編成に際し、細部の精査・調整に努めており、(3) 一般会計における歳入一般財源の推移では、市税の各税目について、令和 4 年度の決算見込額等を勘案した結果、87 億 4,703 万円と、前年度に比べ 2 億 611 万 1 千円、2.4%の増となっています。

地方交付税は、国の地方財政計画を基に算出した結果、89 億 7,800 万円と、前年度に比べ 1,800 万円、0.2%の増、関連する臨時財政対策債は、1 億 8,700 万円で、こちらは、前年度に比べ 2 億 700 万円、52.5%の大幅な減という状況です。

○基金の状況

(4) 基金の状況については、財政調整基金繰入金を前年度に比べ 3,000 万円多い、9 億 8,000 万円計上しているほか、各事業の財源として、適宜、関係する特定目的基金からの繰入金を計上しており、令和 5 年度末の基金総額残高を、約 160 億 1,700 万円、うち財政調整基金は、約 59 億 2,700 万円と見込んでいます。

〔資料 7 ページ〕

○市債残高の状況

(5) 市債残高の推移では、一般会計の令和 5 年度末市債残高の見込額は、佐原駅周辺地区活性化拠点整備事業などの大規模事業の完了により増える分を、これまでに実施した事業の当年度返済分に伴う減額が上回るため、約 400 億 5,900 万円となり、前年度に比べ約 2 億 2,600 万円減少し、全会計の合計では、約 623 億 6,100 万円となる見込みです。

なお、このうち財源措置の有利な合併特例債の当該残高は、約 184 億 700 万円、同じく臨時財政対策債は、約 120 億 400 万円、また、令和 4 年度から借入している過疎対策事業債は、37 億 200 万円で、これらが全会計分に占める割合は 54.7%との状況です。

○特別会計等への負担の状況

(6) 特別会計等に対する一般会計からの繰出金等の負担状況について、主なものとして、介護保険事業が、保険給付費の増などにより約 12 億 2,400 万円と、前年度に比べ約 1,500 万円、1.2%の増、水道事業が、浄水場の整備を含む統廃合事業費の増などにより約 14 億 700 万円、前年度に比べ約 7 億 1,700 万円、104.0%の大幅な増となっています。

〔資料 8 ページ〕

【一般会計予算案の概要】 ※ 百万円単位

(1) 歳入については、多い順に、11 款 地方交付税 89 億 7,800 万円、1 款 市税 87 億 4,700 万円、15 款 国庫支出金 41 億 5,100 万円となります。

前年度との比較では、1 款 市税、18 款 寄附金が増加し、15 款 国庫支出金、22 款 市債は、対象事業費の関係から減少となっています。

〔資料 9 ページ〕

(2) 歳出については、多い順に、3 款 民生費 117 億 1,100 万円、2 款 総務費 46 億 6,700 万円、4 款 衛生費 43 億 1,500 万円となります。

前年度との比較では、主に 4 款 衛生費で、水道施設統廃合事業出資金などの影響により、9 款 消防費で、防災行政無線更新事業により増加し、2 款 総務費は、佐原駅周辺地区活性化拠点整備事業の完了により減少しています。

〔資料 10～12 ページ〕

【一般会計予算案における主要事業】

一般会計予算（案）の歳出における主要事業について説明します。

1. 「広報広聴費」は、自治体 DX 推進の観点から、デジタル田園都市構想交付金を活用し、AI チャットボットの導入、市ホームページの全面リニューアルなどに要する経費を計上するものです。

2. 「シティプロモーション事業」は、市の情報を効果的に発信し、市の魅力アップと発展につなげるため、新たに事業を創設し、「シティプロモーション推進室」を設置するほか、当業務に係る地域おこし協力隊員を配置します。

3. 「庁舎改修事業」は、本庁舎の照明 LED 化工事及び空調熱源改修工事等に要する経費を計上し、脱炭素化や省エネ化を図るもので、この事業は、令和 6 年度まで、総額 5 億 1,281 万 1 千円の継続費を設定しています。

4. 「ふるさと香取応援寄附金事業」は、ふるさと納税の申し込みが好調なため、寄附金の当該基金への積立額として、前年度より 1 億 5 千万円多い、4 億 5 千万円を計上するものです。

5. 「移住・定住促進事業」は、香取市への移住・定住を促進し、人口減少等への対策を講じるため、地域おこし協力隊を 1 名増員するほか、東京 23 区等からの移住者を支援す

る観点から、新たに UIJ ターン企業・就業者等創出事業移住者支援金を創設するなど、当該経費を計上するものです。

6. 「公共交通施策推進事業」は、交通事情及び関係事業者の経営が厳しい現状を踏まえ、早急に交通体系等の抜本的な見直しを図るため、香取市公共交通計画の策定に係る経費などを計上するものです。

7. 「重層的支援体制整備事業」は、これまでの分野別の支援体制では対応が難しい複雑・複合化した案件について、令和5年度から、包括的な支援体制を構築し、よりの確な支援措置を図る経費として、新たに多機関協働事業等委託費などを計上しました。

8. 「国民健康保険事業特別会計・後期高齢者医療事業特別会計」では、ともに短期人間ドック補助金の支給限度を2万円から3万円に増額しております。

9. 「介護人材確保対策事業」は、介護人材を養成、確保するため、新たに介護保険サービス提供事業所の人員不足解消に資する取組への補助金を計上しました。

10. 「子ども医療費助成事業」は、子育て世代を支援するため、県の施策を踏まえつつ、市の単独助成分を含む全対象者について、従来の制度を拡充し、令和5年8月以降、一月で同科目の通院6回目以降及び、同入院11日目以降の医療費を無償化するほか、これまで償還払いであった高校生までを現物給付とするための経費を計上しております。

11. 「子育て創生事業」は、地域少子化対策の一環として、新たに結婚に伴う新生活に係る家賃や引越費用等に対する助成を行うこととし、結婚から子育てまでの切れ目のない支援措置を充実してまいります。

12. 「出産・子育て応援事業」は、令和4年度の補正予算対応と同様、妊娠時から出産・子育てまでの伴走型相談支援体制の充実を図るほか、妊娠届出時に出産応援金を、出産届出時に子育て応援金として、それぞれ5万円を支給するための経費を計上しました。

13. 「幼保一元化施設整備事業」は、令和5年10月から新施設で保育等を開始する予定の佐原グレイスこども園の建設に係る当年度分の施設整備補助金を計上しました。

14. 「予防接種事業」は、少子化対策・子育て支援策を拡充する観点から、新たに妊婦及び生後6か月から中学3年生までの子どもに対するインフルエンザ予防接種を対象とし、関連経費を計上しました。

15. 「上水道事業」は、当年度分の浄水場の整備を含む水道施設統廃合事業出資金等を計上するものです。水道事業会計では、令和3年度に総額115億3,938万2千円の継続費を設定し、当該水道施設統廃合事業を進めています。

16. 「米政策改革事業」は、自給力向上団地化奨励金としてWCS（ホール・クロープ・サイレージ）分の10a当たりの単価の引き上げ、また、飼料用米出荷奨励金の10a当たりの単価を引き上げ、所要額を計上しました。

17. 「園芸農産振興対策事業」は、市の基幹産業である農業を積極的に営む個々の農家を支援するため、「輝け！ちばの園芸次世代産地整備支援事業補助金」の活用事業者に対し、新たに市独自で対象事業費の5パーセントを上乗せ補助することとし、対象経費を計上しました。

18. 「水の郷さわら管理運営費」は、国土交通省関東整備局と共同で、次期佐原広域交流拠点PFI事業者の選定に向けた準備経費として、当該所要額を計上しております。また、この事業は、令和6年度までの債務負担行為を設定しています。

19. 「道路維持事業・道路新設改良事業」は、過疎対策事業債を有効活用するため、当該対象分を含め、前年度より当初予算計上額を増額しています。

20. 「主要地方道整備事業」は、継続して整備している1-57号線道路改良事業など、3路線の幹線道路整備事業を計上しました。

21. 「公園施設整備事業」は、遊具や公園施設の改修及び子育て家庭等利用者の意向を踏まえた充実を図るため、公園長寿命化修繕計画策定業務委託のほか、くろべ運動公園内の照明LED化やテニスコートの人工芝の張替えなどの経費を計上しました。

22. 「防災行政無線更新事業」は、防災行政無線の全面的な更新、デジタル化に係る経費を計上しました。なお、当事業は、令和4年度から6年度まで、総額15億999万2千円の継続費を設定しています。

23. 「千葉県誕生150周年記念事業」は、県の特別補助金を活用し、伊能忠敬記念館開館25周年記念事業として、特別展「描かれた日本～伊能図との再会～」の開催経費などを計上しました。

24. 「公民館改修事業」は、山田公民館の経年劣化に伴い、大規模改修が必要なことから、実施設計業務委託などを計上しました。

25. 「学校給食費免除」は、少子化対策として子育て世帯の負担軽減を図る観点から、既に令和5年1月分の給食費から実施している当該減免措置を通年化することとしました。

〔資料 13 ページ〕

【3月補正予算案の概要】 ※議案書 1～81 ページに記載

一般会計補正予算（第8号）は、1億4,519万5千円を減額し、補正後の総額を、385億6,672万1千円とするものです。

特別会計は、2会計の補正となり、国民健康保険事業は、4,545万7千円を追加し、補正後の総額を96億4,699万7千円とし、介護保険事業は、22万6千円を追加し、補正後の総額を80億7,939万円とするものです。

公営企業会計は、2会計の補正となり、水道事業は、資本的支出に8万4千円を追加し、補正後の支出総額を、43億7,491万7千円としています。

公共下水道事業は、資本的支出から3,835万円を減額し、補正後の支出総額を、30億1,207万5千円としています。

○一般会計における債務負担行為の補正

市民バス購入費など10件を設定しており、いずれも令和5年度予算の執行分について、年度当初から、円滑に業務を開始するため、設定するものです。

〔資料 14 ページ〕

【3月補正予算案における主要事業】

一般会計補正予算の主な事業内容について、説明します。

「1. バス路線運行事業」には、運行事業に係る人件費や燃料費高騰に伴い、廃止代替バス運行補助金等に705万5千円を追加しました。

「2. ふるさと香取応援寄附金事業」には、ふるさと納税に係る寄附の受入が好調なため、記念品費や基金への積立金など、1億5,517万3千円を追加しました。

「3. 障害者福祉対策事業」には、社会福祉に係る寄付金150万円がありましたので、寄付者の意向に沿い、市内障害就労支援事業所10箇所に対し、新型コロナウイルス感染対策に係る補助金150万円を計上しました。

「4. 畜産振興事業」には、昨今の輸入飼料価格の高騰に伴い、畜産農家の経営の安定に資するため、新たに飼料高騰緊急支援金など、1,783万8千円を計上しました。

「5. 土地改良事業」には、電気料金などの物価高騰対策支援として、新たに土地改良区や水利組合などに対し、農業用水利組合等物価高騰対策補助金670万円を計上しました。上記、4及び5の支援措置は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の物価高騰対策分を活用します。

「6. 道路維持事業」「7. 道路新設改良事業」には、早急かつ計画的な改善措置を図るため、10路線分の工事費など、合わせて3,600万円を追加しました。

「8. 市道Ⅱ-32号線外道路改良事業」には、地権者との用地交渉が整ったことにより、事業の円滑な執行を考慮し、公有財産購入費など、463万9千円を追加しました。

「9. 河川維持事業」には、成田市と共同で実施する河川流末整備費や、早急に対処すべき準用河川の水草撤去委託料など、2,009万7千円を追加しました。

「10. 公園維持管理費」には、市内公園遊具などの定期点検を踏まえ、その修繕・更新に係る経費、1,729万円を追加しました。なお、当事業は、年度内に完了しない見込みのため、繰越明許費を設定しています。

【担当課説明】

「東京情報大学・香取市 地域連携フォーラム 2022」（市民協働課）

【参考資料】

主な行事予定（令和3月～5月）

【その他】

香取の逸品「いそべ耕業の雑穀米」（農政課）

いそべ耕業の栽培は極力農薬を使用せず、草取りも人力で行う徹底ぶり。本商品に使用されるキビ、アワ、モチ麦は、有機肥料のみで栽培されており、購入者のことを一番に考えた商品となっている。

雑穀米というと、健康に関心の高い方にとってはおなじみであるが、多くの人にとって

あまり身近ではない食材のため、より多くの方に手に取ってもらえるようにパッケージを工夫した。

耕作放棄地の活用など、地域の田畑の活用や保護を念頭に置きながら農業に従事していることから、いそべ耕業の雑穀米は香取市農産物販売促進協議会の「ちば香取のすぐれもの」に認定されている。